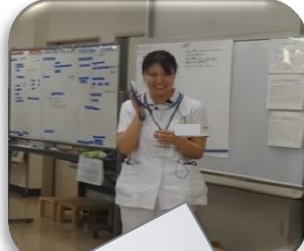


シミュレーション研修 ～多重課題への対応を学ぶ～



11月13日(月)～17日(金)の5日間で、新卒者を対象としてシミュレーション研修を実施しました。研修では、研修者それぞれが担当看護師役・患者役・観察者となり、多重課題・時間切迫の状況下の事例をもとに、実際の看護場面を想定し演習を行いました。演習後は、「患者の安全を考慮した優先順位の判断」「基本に沿った看護ケアの実施」「先輩看護師への応援要請」「患者への適切な態度や言葉づかい」という4つの視点でグループで振り返りを行いました。研修者は、演習や振り返りを通して、自己の課題や新たな気づきを得て、学びを深めていました。



【先輩看護師への応援要請】
報告・連絡・相談のタイミング、適切な情報の伝え方の難しさを実感していました。

【痛みのある患者さんへの対応】
痛みのアセスメント方法、目線合わせた対応や丁寧な声かけは、安心感に繋がることを学びました。



【薬剤のダブルチェック】
患者さんの安全を守るために、どの様な状況でも、7Rの確認が重要であると再認識していました。



【右麻痺のある患者さんへの歩行介助】
歩行時の支え方や声かけ、環境整備など、転倒予防のための看護ケアを振り返りました。

【基本に沿った看護ケア】
吸引前の呼吸状態のアセスメント、輸液ポンプの正しい操作について再確認していました。



グループワークでは、多重課題・時間切迫の状況における自己の傾向や今後の課題を明らかにすることができました。



演習後の振り返りでは、良かった点や改善点を話し合い、より良い看護実践を目指しました。

